

# 進行食道および胃悪性腫瘍に対する集学的治療の抗腫瘍効果と腫瘍学的予後に関する既存資料を用いた研究

2001年から2019年までに進行食道および胃悪性腫瘍で集学的治療を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「進行食道および胃悪性腫瘍に対する集学的治療の抗腫瘍効果と腫瘍学的予後に関する既存資料を用いた研究」という研究を行います。この研究は、2001年1月1日より2019年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院消化器外科にて、食道および胃悪性腫瘍のために集学的治療を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：進行食道および胃悪性腫瘍手術例における術式別による術後生体防御反応と合併症に関する既存資料を用いた研究

研究期間：2020年倫理審査委員会 承認日～2025年12月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 松谷 毅

### (2) 研究の意義、目的について

本研究では、進行食道および胃悪性腫瘍の集学的治療を受けられた患者さんで、治療法別の抗腫瘍効果と腫瘍学的予後について既存の資料を用いて解析し、集学的治療がもたらす生体への有効性および負担の実態を明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2001年1月1日より2019年12月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院消化器外科にて、進行食道および胃悪性腫瘍のために集学的治療を受けられた患者さんを対象として、診療録を中心に治療による抗腫瘍効果、患者さんの背景因子、治療前後の血液検査データと有害事象の発症についての検討を行います。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科 准教授 松谷 毅

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3822

メールアドレス：matsutani@nms.ac.jp